

第3学年 社会科 学習指導案

1. 小単元名『かまぼこ工場で働く人と仕事』

(教科書：『小学社会3・4上』p.70～85／学習指導要領：内容(2)ア、イ)

2. 小単元の目標

かまぼこなどの生産の工夫や努力，地域とのつながりなどについて捉え，工場と自分たちの生活とのつながりについて考えさせる。

3. 小単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
かまぼこ工場の仕事について意欲的に調べ，かまぼこ作りの仕事と自分たちの生活とのつながりを考えようとしている。	かまぼこ工場では様々な工夫や努力により，衛生的で安全な製品を効率よく生産していることについて考え，適切に表現している。	かまぼこ作りについて調べる観点にもとづいた適切な方法で調べ，わかったことを見学メモやノートにまとめている。	工場でのかまぼこ作り，働く人たちの努力や工夫，原料や流通を通じた他地域とのつながり，地域とのつながりを大切にする工場の人々の思いを理解している。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

児童にとって，かまぼこは日常的に食べる身近なものというよりは，正月の料理に使われているというイメージが強い。そのため，かまぼこという水産加工品についての知識はなく，親しみをもてない児童が多数だと思われる。本小単元の導入では，児童に本県でのかまぼこ生産量が全国上位であることを示したうえで，かまぼこの原材料について調べたり，実際にかまぼこに触れたりすることで，興味・関心を高めることが重要であると考えます。

(2) 教材について

本小単元では，かまぼこ工場の見学活動を取り入れる。この工場では，かまぼこの他に，ちくわや茶碗蒸し，伊達巻など様々な種類の加工品を製造している。また，衛生面での工夫，おいしい製品を製造するための工夫だけでなく，この工場では卵アレルギーへ配慮した製品作りに努めている。その企業努力を知ることによって，児童は何気なく目にしていたかまぼこが店頭には並ぶまでに，工場（作り手）の様々な工夫・努力があることを学ぶであろう。

(3) 指導上の工夫・留意点

本小単元では，児童の学習意欲を持続させ，一人ひとりの学びを保障するため，次の3点に留意した学習活動を展開する。

- ①実物（商品，働く人の作業着など）を提示し，活用した授業を展開することで，児童にとって学習内容がより身近に感じられるようにする。
- ②児童が主体的に「問い」をもつことができるよう，児童の思考に揺さぶりをかけるような事例や事実を提示する。
- ③ホワイトボードを活用した少人数での話し合いの場を設け，全員参画型の学習活動を取り入れる。

5. 小単元の指導計画（総時数 10 時間）

時	ねらい	○学習活動 ・内容	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
① （つかむ）	実物のかまぼこからその材料や作り方を予想し，調べる。	<p>○実物を提示し，かまぼこの原材料が何かを予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにゃく，小麦粉，魚など <p>○包装紙から，原材料が主に魚であることを確認する。</p> <p>○かまぼこの製造工程に興味をもち，予想する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どのようにして，魚がかまぼこに変身するのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・白身魚をとってくる。 ・工場でさばいて，つぶして固めている。 ・機械でつくっているんじゃないかな。 <p>○工場見学に行って確かめるという意欲をもち，見学計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作り方を調べてこよう。 ・1日に何個作っているのかな。 ・働く人はどれくらいいるのかな。 ・かまぼこ工場でも，スーパーみたいに工夫があるかもしれないね。 	<p>◇本県が，かまぼこ生産量の全国上位であることにふれる。</p> <p>◎各社のかまぼこ製品（複数社のもの）</p> <p>◎原材料名の拡大資料</p> <p>◇3年生の児童が理解しやすいよう，ふりがなを入れて，拡大して提示する。</p> <p>◇調べる観点について，前小単元のスーパーマーケットの学習を想起させる。</p> <p>◆かまぼこの作り方に興味・関心をもち，それについて調べようという意欲をもっている。</p> <p>（関・意・態／発言・ノート）</p>
② ③ （調べる）	かまぼこ作りについて調べる観点にもとづいて見学し，わかったことを見学カードにメモする。	<p>○工場を見学し，観察や聞き取りを行い，かまぼこの製造工程や，働く人の様子，工夫について調べ，カードにメモする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想した通りの方法で，かまぼこを作っているのだろうか。また，工場ではどのような工夫をしているのだろうか。</p> </div>	

		<ul style="list-style-type: none"> ・分担して、機械で作っているんだ。 ・たくさんの機械があるね。 ・働く人は、白い服を着ている。 	<p>◆自分たちで話し合った観点にもとづいて見学したり、話を聞き取ったりして、見学カードにメモしている。 (技能／発言・見学メモ)</p>
④ (まとめる)	<p>工場で調べてきたことをまとめ、共有する。</p>	<p>○見学してわかったことをまとめ、もっと調べたいことについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>工場見学でわかったことや、もっと調べたいことはなんだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな機械を使って、分担してやっていたね。 ・白い作業着だった。理由がありそうだ。 ・人が手作業しているところもあったよ。 ・かまぼこだけじゃなくて、ちくわも作っていたね。 ・商品を開発している人がいるって言った。 	<p>◇作業工程、働く人の様子、工夫など、出た意見を分類して、まとめていく。</p> <p>◎児童の見学メモ・工場見学時の写真</p> <p>◆見学でわかったことを観点に沿って出し合い、それらを分類したり、関連づけたりしながらまとめようとしている。(技／発言・ノート)</p>
⑤ (深める)	<p>工場で働く人の服装や、仕事の様子について話し合い、工場では衛生と安全に気をつけて作業をしていることに気づく。</p>	<p>○工場で働く人の服装に着目し、なぜそのような服装で作業をするのかを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>かまぼこを作る人は、なぜ帽子とマスクをつけ、白い作業着で仕事をしているのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物を作るところだから、清潔にするためかな。 ・白い服だと清潔なの？ ・帽子とマスクは、理由がわかるよね。髪の毛やつばが入らないように…。 ・白い服は、汚れが目だつ。 ・汚れたら、すぐにわかるようにできるから清潔なんだ！ 	<p>◇児童が工場で見つけた多くのことから、働く人の服装に着目させ、食品工場では欠かせない衛生・安全面での工夫に気づかせる。</p> <p>◇グループによるホワイトボードミーティング→全体での共有</p> <p>◎工場で働く人の写真と、見学担当者の話を表した掲示用ボード</p> <p>◆工場の人々の服装や仕事の様子から、衛生や安全に気をつけて仕事をしていることに気づいている。 (思・判・表／発言・ホワイトボード)</p>

<p>⑥ (深める) 【本時】</p>	<p>色の違う作業着を着る人がいる理由について考えることを通して、工場がアレルギー対策として卵を扱う作業者を区別したり、さらに絶対に卵を混同させないように様々な配慮をしたりしていることを理解する。</p>	<p>○前時で、白い作業着はかまぼこ工場の工夫であると捉えている児童に、同じフロアでピンク色の作業着を着ている人がいる事実を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、白ではなくピンクの作業着なのかな。 <p>○ピンク色の作業着を着ている人は、伊達巻を作っていることを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作るものによって色を変えている？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ、作るものによって作業着の色をかえているのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・原材料を比べると、伊達巻には卵が使われている。 ・卵が混ざらないようにするため。 <p>○本時でわかったことをノートにまとめる。</p>	<p>◇白い作業着の写真とピンクの作業着の写真を提示し、比較させる。</p> <p>◎伊達巻とかまぼこの包装紙</p> <p>◇各包装紙を配付し、比較させる。</p> <p>◇グループによるホワイトボードミーティング→全体での共有</p> <p>◆この工場では、卵が混ざらないように様々な工夫や努力をしていることを理解している。 (知・理/発言・ノート)</p>
<p>⑦ ⑧ (調べる)</p>	<p>かまぼこの原料が運ばれてくる地域や、製品の配送先、配送方法を調べて、自分たちの市と国内外の他地域とのつながりに気づく。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>かまぼこの原料はどこから運ばれてきて、製品はどこへ運ばれていくのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・原料の魚は、オホーツク海から。 ・板は、どこからだろう。 ・製品は、全国へ運ばれるんだね。 <p>○原料の仕入れ先、製品の出荷先をイラストマップにまとめる。</p>	<p>◎イラストマップ</p> <p>◎副読本</p> <p>◆かまぼこの原料が運ばれてくる地域や製品の配送先について、地図や資料から読み取ったり、地図に表したりしている。 (技/イラストマップ)</p>

⑨ (まとめ)	工場で働く人の工夫を再確認するとともに、工場における環境への配慮について理解する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">かまぼこ工場で働く人たちは、買う人のためにどんな工夫をして、かまぼこ作りをしているのかをまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生に気をつけた、安全なかまぼこ。 ・おいしいかまぼこ。 ・みんなで一緒に食べられるかまぼこ (卵アレルギーへの配慮)。 <p>○地域の環境に配慮し、汚れた水をそのまま流さないようにしていることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製品だけでなく、環境のことも考えているんだ。 	<p>◇ノートにまとめさせる。</p> <p>◎副読本</p> <p>◆働く人たちの努力や工夫、地域とのつながりを大切にする工場の人々の思いを理解している。</p> <p>(知・理/ノート)</p>
⑩ (まとめ)	学習したことを新聞にまとめることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">学習したことを新聞にまとめよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・三つほど観点を選択し、新聞にまとめる。 	<p>◎見学メモ、ノート、副読本</p> <p>◇いくつかの観点 (かまぼこの作り方、衛生・安全の工夫、環境への配慮、工場の人々の思いなど) を与え、そこから選択して新聞を書かせる。</p> <p>◆かまぼこ工場について学習したことを、選択した観点に沿って適切に表現している。</p> <p>(思・判・表/新聞)</p>

6. 本時の指導 (第6時)

(1) 本時のねらい

色の違う作業着を着る人がいる理由について考えることを通して、工場がアレルギー対策として卵を扱う作業者を区別したり、さらに絶対に卵を混同させないように様々な配慮をしたりしていることを理解することができる。

(2) 本時の展開

時配	○学習活動 T: 発問 C: 児童の反応	◎使う資料 ◇留意点 ◆評価
10	<p>○前時に続き、工場の工夫を見つける。</p> <p>T: 工場の中に、こんな場所がありましたが、見学の時に気づきましたか。</p> <p>C: わからなかった。かまぼこを作っている奥で、「伊達巻」を作っているね。</p>	<p>◎工場のイラスト</p> <p>◇工場のイラスト図 (小単元を通して活用しているもの) に、新しい作業場所を付け加える。</p>

	<p>C: ピンク色のエプロンを着けた人が、伊達巻を作っているよ。伊達巻を作る人は、ピンクのエプロンなの？</p> <p>T: かまぼこも、カニ風味かまぼこも、ちくわも白いエプロンを着けるけど、伊達巻を作る人は、ピンクのエプロンを着けます。あと、茶碗蒸しもピンクのエプロンを着けて作っているそうです。</p> <p>C: 伊達巻ってどんなもの？</p> <p>C: お正月に食べるよ。</p> <p>T: これが伊達巻です。こっちが、茶碗蒸し。</p> <p>C: どうして、伊達巻と茶碗蒸しだけピンクのエプロンを着けるの。だって、白いエプロンが衛生面で大事だったよね。</p>	<p>◎作業着の実物を見せる。</p>
<p>25</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>なぜ、だてまきと茶わんむしを作る人だけ、エプロンの色を変えているのでしょうか。</p> </div> <p>○各商品の包装紙を実際に見ながら、理由を考える。</p> <p>T: それぞれの商品や、その包装紙を見ながら、理由を考えてみましょう。</p> <p>C: わからないよ。</p> <p>C: 何が違うんだろう。材料が違うのかな。</p> <p>T: では、グループで意見を出し合ひましょう。</p> <p>C: 茶碗蒸しは、魚を使ってないよ。</p> <p>C: 伊達巻には、卵が使われている。茶碗蒸しも！</p> <p>○グループでホワイトボードにまとめたものを発表する。</p> <p>T: では、グループで出した意見を代表の人が発表しましょう。</p> <p>C: 茶碗蒸しと伊達巻には、卵が使われているけど、かまぼこには使われていない。卵の違いだと思います。</p> <p>C: かまぼこやちくわには、「卵・小麦・乳は使用していない」って大きく書いてあるから…。</p> <p>C: アレルギーに関係しているんじゃないかと思いました。</p> <p>T: いくつものグループが、材料に注目したのですね。</p> <p>C: アレルギーのある人のために、卵が混ざらないようにしているんじゃないかな。</p> <p>C: 包装紙に『みんなとっしょ』がなによりのごちそうって書いてある。これって、アレルギーのある人も、同じものが食べられるからだ。</p> <p>C: かまぼこやカニ風味かまぼこ、ちくわに卵を混ぜない</p>	<p>◇茶碗蒸し、伊達巻、かまぼこの実物や包装紙を配り、比較させる。</p> <p>◇グループによるホワイトボードミーティングを行い、各自の意見を交流させ、妥当性を検討させていく。</p> <p>◇各グループの意見を発表させ、全体で話し合う。</p> <p>◎包装紙の「みんなとっしょ」表示部分の拡大図</p>

	<p>ように、卵を使って作業している人は違う色のエプロンをしているんじゃないかな。</p> <p>○工場では、卵の混入を防ぐためにエプロンの色で区別するほか、様々な努力をしていることを知る。</p> <p>T:なるほど。では、工場のウェブサイトで確かめてみましょう。</p> <p>C:卵のことが書いてある！やっぱり、卵なんだね。</p> <p>C:文字と色で区別した、バケツの写真もあるよ。</p> <p>T:工場では、卵がほかの製品に混ざらないように、エプロンの色を変えて区別したり、使う道具を区別したりして、気をつけているそうです。</p> <p>C:その下に「検査」って書いてあるよ。</p> <p>T:すり身の検査と、練りあがったすり身の検査と、出来上がった商品の検査をするそうです。</p> <p>C:そんなに何回もするの!?</p> <p>T:そう。どうしてでしょうか。</p> <p>C:卵が混ざっていると、アレルギーのある人が食べたら大変なことになるから。</p> <p>T:ところで、みなさんがこの学習の最初に見たかまぼこの原材料を覚えていますか?</p> <p>C:そういえば、卵が使われていたはずだ。どうして、このかまぼこには卵が書かれていないの?</p> <p>T:実は、この工場は、卵を使わないかまぼこを開発したのです。</p> <p>(工場の人のお話)</p> <p>「みんなで同じおせち料理を食べてほしいから、半年間も研究して、卵を使わないかまぼこを開発したんだよ。」</p> <p>「食感が変わらないものを作るのが、とても難しかった。」</p> <p>C:ここまでして、アレルギーのある人も一緒に食べられるように、かまぼこを作っているんだね。</p>	<p>◎工場のウェブサイト</p> <p>◇卵の混入を防ぐ工夫を、板書する。</p> <p>◇工場の人のお話を、吹き出し形式で掲示する。</p> <p>◇卵アレルギーのある児童に対する配慮を忘れないようにしたい。必要に応じて、他の児童の発言等も指導する。</p>
10	<p>○学習した内容を作文にまとめる。</p> <p>C:今まではわからなかったけど、今日の勉強で、工場では卵を使わない製品を作ったり、卵がまざらないようにすごく気をつけたりしていることがわかった。</p>	<p>◇ノートに記述させる。</p> <p>◆この工場では、卵が混ざらないように様々な工夫や努力をしていることを理解している。 (知・理/発言・ノート)</p>